

東北地方で自然保護活動に取り組まれているみなさん、秀峰津軽富士・岩木山の山麓で開かれる第27回「東北自然保護の集い」に「きてけへじゃ〜！」

第27回「東北自然保護の集い」 岩木山大会実行委員会 委員長 阿部 東 2006/07/01

みなさん、2006年度「東北自然保護の集い」実行委員会委員長の阿部東です。大会要項、申し込み用紙、参加費等納入の振替用紙などを送付いたします。是非多数の方々に参加されることをお願い申し上げます。まずは開催場所である岩木山を「岩木山を考える会」事務局長三浦章男の文章から紹介し、挨拶にかえさせて載せます。

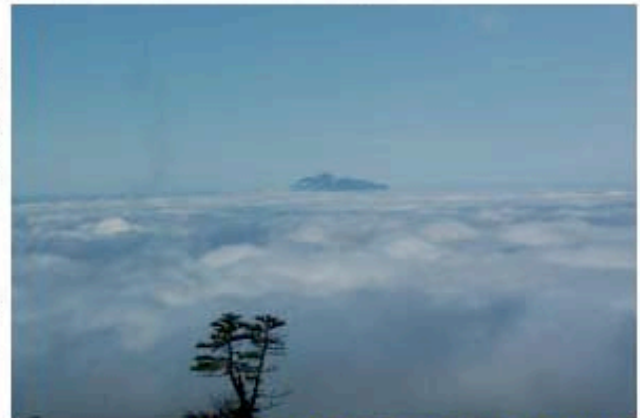
『山の裏側』とか「裏岩手」、「裏磐梯」という言い方もある。ところが津軽地方では自分たちに見えない山容を「裏側」と言うことはあるが「裏岩木」とは言わない。津軽の人にとっては「裏表・左右」なく岩木山は一つの同じ山「私の岩木山」なのである。

岩木山、高さはないが長い裾野を広げて津軽平野に気高く君臨する本州北端の孤峰である。この孤峰を見て育った人々は、それを網膜に育った年数をかけて焼き付け、決して剥がれ落ちることがないと血肉で信じ切っている。これが津軽人の原風景だ。森は田山であり、岩木山は水神の宿る神の山、薪炭や山菜を、動物たちにブナや橡の実を、海に魚を育むという恵みの山。また、先祖の霊が暮らし、収穫が終わると帰るといふ「お居往来山（おいゆきやま）」である。我々の祖霊にとって岩木山は安らぎの場所、そして、いつの日か私たちがまたそこに遊ぶ。

しかし、この数年間新しくスキー場が作られ、既存のものもゲレンデを広げ押し上げて、冬場は夜な夜な北と南の尾根や山麓に焦がさんばかりの明るい輝きを見せる。それ見る子供たちの心にはただ単に、「スキー場のある山」というイメージしか育んでいないのかも知れない。岩木山は津軽の人々にとって「西方浄土」でなければならない。

春から夏。麓から草原の緑と花々に、高みは木々の緑に、その上部から山頂までは高山植物の彩りにしっとり包まれる。その頃、お山参詣の集団が、五穀豊穡を祈願して大きな御幣をかざして山頂に登拝する。秋から冬。駆け下りる錦秋に、清澄な冷気と純白な綾絹に静かに包まれる。岩木山は潔く孤高であり、不変にして不動、誰に対しても公平な大地の母、差別や蔑みのない優しい個性を持った山だ。

歌人は「岩木嶺に続く不穏田色褪せて秋色の畦に人の影はなし」と詠う。天の恵みに見放され、貧しい農政に追いつけられぬ無念さを胸にしまい込んで、働き手は出稼ぎに行ったのだ。岩木山はこの歌にもじっと耳を傾けてくれる。』日本経済新聞2004年6月12日付夕刊掲載「ふるさと山紀行・岩木山」から



八甲田山から西方、雲海に岩木山を見る



菜種畑の海に浮かぶ岩木山・日本海側登ヶ沢山田野・5月上旬

第27回 東北自然保護の集い
「岩木山大会」開催要項
大会テーマ 水辺の保全と自然林の再生

第27回「東北自然保護の集い」は、津軽の名峰岩木山のふもと百沢温泉で開催されます。この集いは1980年に山形県朝日村で第1回大会を開催し、途切れることなく各県持ち回りで開催されています。この間、多くの問題を克服しながら東北地方が抱えるさまざまな課題に取り組んできました。

今回は、岩木山に関わる大規模スキー場計画のその後、ブナ原生林だけではなく自然林の再生のあり方、湿原や野鳥の保護、自然観察会の運営課題などをテーマとして東北各地の運動とともに話を深めたいと考えております。どうか、みな様のお知り合いの方にお声をかけていただきながら、多くの皆様の参加をお願いいたします。

(1) 主催 東北自然保護団体連絡会議
第27回「東北自然保護の集い・岩木山大会」実行委員会

(2) 時期
2006年9月16日(土)～17日(日)

(3) 会場 弘前市百沢小松野87-319
地方共催組合「あすなる荘」
TEL 0172-83-2121
あすなる荘HP
<http://www.aomori-hka.com/asunaroso/>

(4) 日程
①9月16日(土)
12:30～13:30 受付
13:30～13:40 開会行事
13:40～15:00 記念講演
「岩木山の自然から一種の多様性と保全」
講師 日本昆虫学会会員
岩木山を考える会会長 阿部 東
15:15～17:00 事例報告と協議

- ・「岩木山弥生スキー場予定地問題」
- ・「ラムサール条約と仏沼の現状と課題」
- ・「青森市横内水源地の植樹問題」
- ・「東北各地からの事例報告」

17:00～18:15 休憩・入浴
18:20～20:00 夕食・交流会

②9月17日(日)
9:00～10:30 事例報告と協議
10:30～10:45 休憩
10:45～11:50 全体討議
「今後の東北の自然保護運動」
※東北各地の事例報告に連動して
11:50～12:00 閉会行事

(5) 参加費

- ①協議会(資料代として参加者すべて)500円
- ②あすなる荘1泊2食(交流会費含む)9,500円
- ③夕食交流会のみ参加 4,500円

(6) 参加申し込み

- ①締め切り 2006年9月1日(金)
- ②様式 別紙様式にて承りますので、事務局までご請求ください。
- ③参加費のお支払いは郵便払い込み用紙にて「02290-0-57239 三浦章男」に締め切り日までに払い込みください。
※複数名まとめる場合は「岩木山大会参加費、()名分、氏名全員」を明記してください。

(7) 問い合わせ&申し込み先

第27回「東北自然保護の集い・岩木山大会」
実行委員会 事務局団体 岩木山を考える会
<http://www.iwakisan.jp/>
〒036-8054 青森県弘前市田町4丁目12-7
三浦章男 方
TEL&FAX 0172-35-6819

(8) その他

- *テント泊を希望する方は事務局に問い合わせください。
- *事例報告を希望される方は、事務局に申し込み下さい。
- *配布資料は、100部程事務局に事前に郵送するか、当日ご持参ください。